

岩手県の津波防災が変わります!

岩手県 水門・陸閘 自動閉鎖 システム

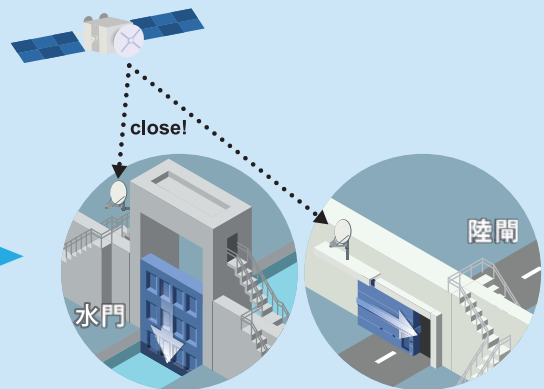
堤防に整備された水門・陸閘が背後の街を守る「堤防の機能」を発揮するためには、津波が遡上する前に水門等を確実に閉鎖する必要があります。しかし、東日本大震災では、これら水門等の閉鎖作業に従事した多くの消防団員が被害に遭ってしまいました。

そこで岩手県では、衛星通信ネットワークにより水門等を自動的に閉鎖し、津波時に現地で人が操作することなく、安全かつ迅速・確実に水門等を閉鎖する仕組みをつくりました。

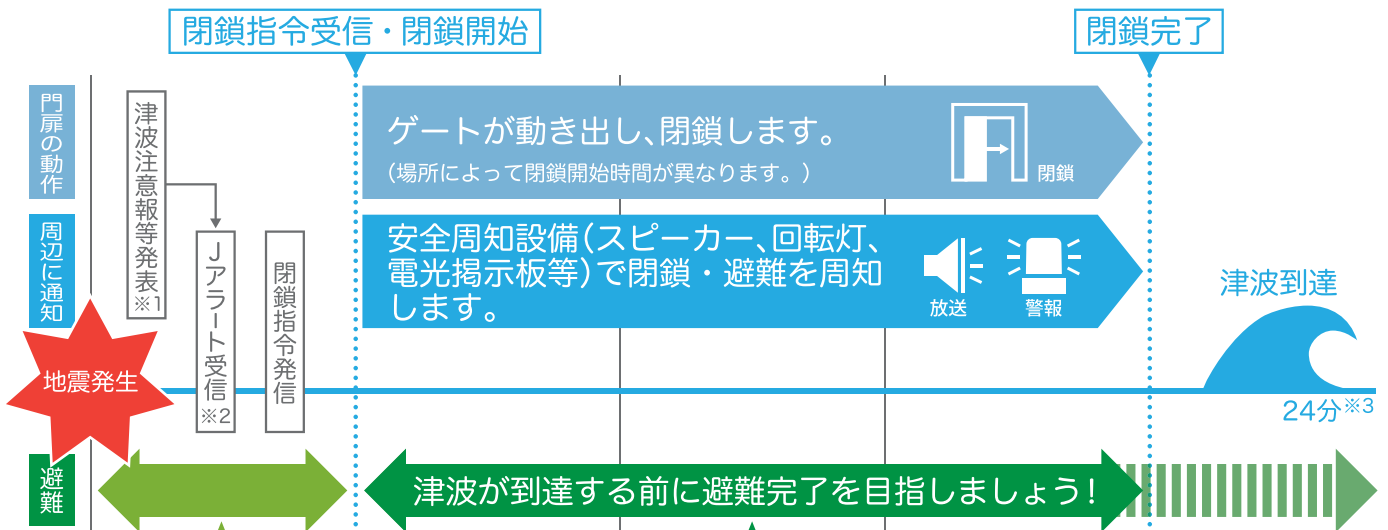
平成29年7月から順次、水門・陸閘に自動閉鎖システムを設置します。

ゲートが自動的に閉鎖!

閉鎖指令を受信すると、操作員が現地に行かなくても、水門・陸閘のゲートが自動的に閉まります。



津波発生時における避難方法（水門・陸閘の閉鎖動作と避難方法）



茶屋前陸閘付近の階段（大船渡市）



高い場所へ避難だね!

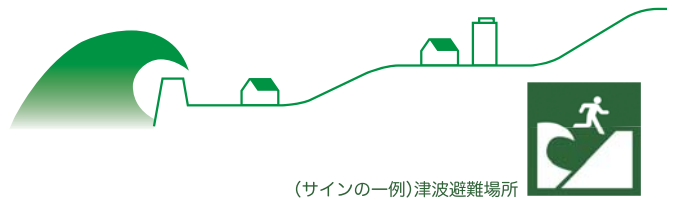
※1) 津波注意報等：気象庁から発表される「大津波警報」「津波警報」「津波注意報」をさします。
 ※2) 全国瞬時警報システム(Jアラート)：津波注意報、緊急地震速報等の緊急情報を人工衛星を用いて国(内閣官房・気象庁から消防庁を経由)から送信し、自治体や住民に緊急情報を瞬時に伝達するシステムです。消防庁URL：https://www.fdma.go.jp/
 ※3) 24分：岩手県の過去最短の津波到達時間(宮古港 昭和35年3月21日 三陸はるか地震津波、昭和43年6月12日 十勝沖(余震)津波)

どんな時でも、避難が大事！

自動閉鎖システムが整備されても… 水門・陸閘を閉鎖しても、街を守りきれない津波があります！

津波注意報等が発表されたら、ただちに安全な場所に避難してください！

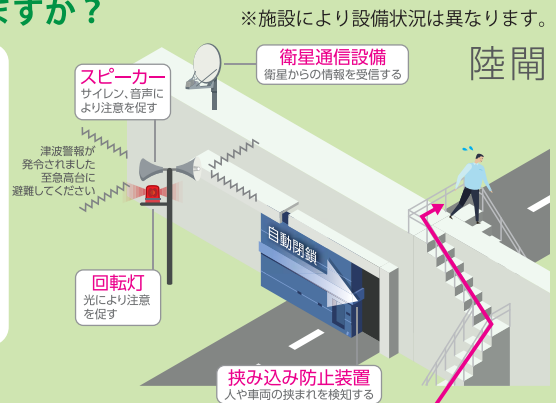
- 避難先については、事前に、市町村が指定している「津波避難場所」等を確認しておいてください。
- 「津波避難場所」へのルートは、サインが設置されています。それを目印に、事前にルートを確認しておいてください。
- 「避難訓練」には積極的に参加をしましょう。いざという時、人は経験したことしかできなくなると言われています。避難訓練に参加することで避難経路等を確認しておくことが重要です。



Q & A

Q1 津波注意報等が発表されたら、すぐに閉まりますか？

A1 Jアラート及び自動閉鎖システムの起動時間並びに津波注意報等を知らせる放送等の後、閉まり始めます。ゲートはゆっくり閉まり、人や車両の挟まれを感知する「挟み込み防止装置」が設置されていますが、避難時は、無理せず冷静な行動を心がけることが大切です。

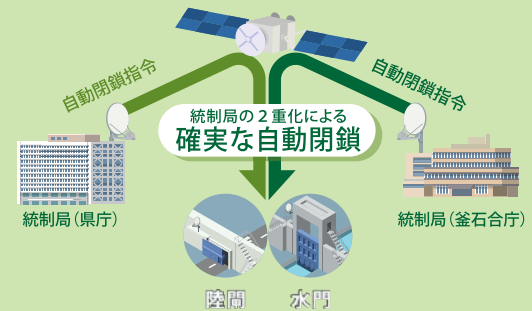


Q2 逃げ遅れたら、どうなりますか？

A2 ゲートが動き始めたらゲートを通ろうとはせずに、階段から避難してください。小扉が設置されている場合は、小扉からでも避難可能です。ただし、小扉はゲートが完全に閉まってから利用してください。

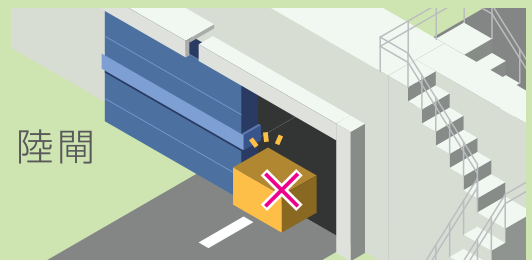
Q3 いざという時、ちゃんと作動しますか？

A3 閉鎖指令に使う衛星回線は、災害に強い専用の回線なので、一般の回線の影響を受けずに通信につながります。また、予備電源を用意しているので停電時でも確実に作動します。さらに、統制局を2つ設け衛星設備を二重化しているため、どちらかの機器に障害が発生しても、もう一方で通信が可能です。



Q4 日々のメンテナンスは、大丈夫ですか？

A4 毎日1回、通信設備の自動点検を行います。故障や不具合があった場合は、速やかに修理し、いつでも確実な閉鎖ができる信頼性の高いシステムを実現しています。

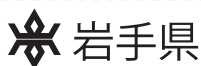


Q5 ゲートが閉じない時、どうしますか？

A5 ゲートが閉まり始めるまで閉鎖信号を繰り返し送ります。また、水門等が自動閉鎖を開始しない場合は、遠隔から手動で閉鎖操作ができます。しかし、ゲートに障害物が挟まってしまうと、閉鎖することができなくなります。車を止めたり物を置かないようにしましょう。



お問い合わせは
こちら！



住所：〒020-8570 岩手県盛岡市内丸10-1
URL：<https://www.pref.iwate.jp/>

農林水産部 農村建設課
漁港漁村課
県土整備部 河川課 河川海岸担当

TEL：019-629-5684
TEL：019-629-5830
TEL：019-629-5907

発行：2017.07